



9月号 すくすくげんき通信



明野しいのみ保育園 令和5年8月31日発行

まだまだ暑い日が続いていますが朝夕はほんのり涼しく感じられたり、夜によく耳を澄ますと虫の音が聞こえたりと秋が近づいてきているのを感じます。季節の変わり目は、体調不良になりやすいときでもあります。生活リズムを整えて元気に過ごしましょう！



☆運動会の取り組みがはじまります☆

9月に入ると運動会へ向けての取り組みがはじまります。靴のサイズは合っているか、きちんとフィットしているかなどの確認をお願いします！成長期の骨は柔らかくて変形しやすいため、注意が必要です。大きすぎる靴は足の指が踏んばれなくて扁平足になったりすることがあります。小さすぎる靴は指が丸まり成長を妨げます。

(ピッタリサイズのポイント)

- つま先のゆとりは指がグーパーできるくらい
- かかとがパカパカしない
- 足が曲がる位置で靴も曲がる
- 足の横がきつくない
- つま先が反りあがっている
- 靴底に弾力がある

靴選びは、デザインよりサイズがポイントです。ピッタリの靴で快適に活動ができるよう準備して応援してください！！

9月9日は救急の日です。

年齢が上がるにつれ、できることが増えていく子どもたち。同時に、思わぬケガや事故も増えてきます。慌てず対処できるようにしていきましょう。



切り傷・すり傷

傷口を洗い、清潔なタオルなどでおさえます。傷口が大きい場合や出血がおさまらないときは病院へ受診をおすすめします。



誤飲

何をどれくらい飲んだか、どんな状態かを観察します。大量の薬を飲んだ、意識がない、けいれんや嘔吐をしている場合は受診を！



やけど

水道水で10分以上冷やします。やけどの範囲が広い、水ぶくれができて、皮膚が黒または白くなっている場合は病院を受診し処置をしてもらいましょう。

☆皮膚トラブルが見られています☆

園内では夏のこの時期は湿疹、あせも、すり傷、虫刺されなどの皮膚トラブルが増えてきています。皮膚トラブルから掻きこわした傷口に細菌が感染して起こるとびひなどの皮膚症状も見られています。とびひは強いかゆみがあり、掻いて水疱が破れると感染力の強い細菌を含んだ液が飛び散り、ほかの部分にまたたく間に広がっていきます。水疱が破れたあとは、かさぶたになりしばらくするときれいに取れますが、ときには全身に水疱が広がるケースもあるので注意が必要です。いつもより皮膚を清潔に保ち、掻きこわさないように爪も短く切りましょう。保育園では肌と肌が触れあって遊ぶことも多いです。水疱が破れて液が出ている時は患部をガーゼ等で覆うなど保護をして登園してください。

ご協力よろしくお祈いします。